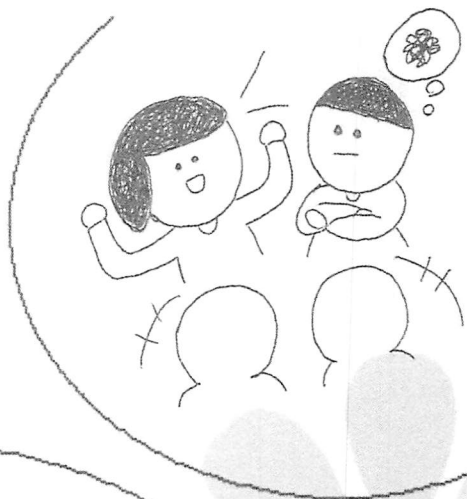
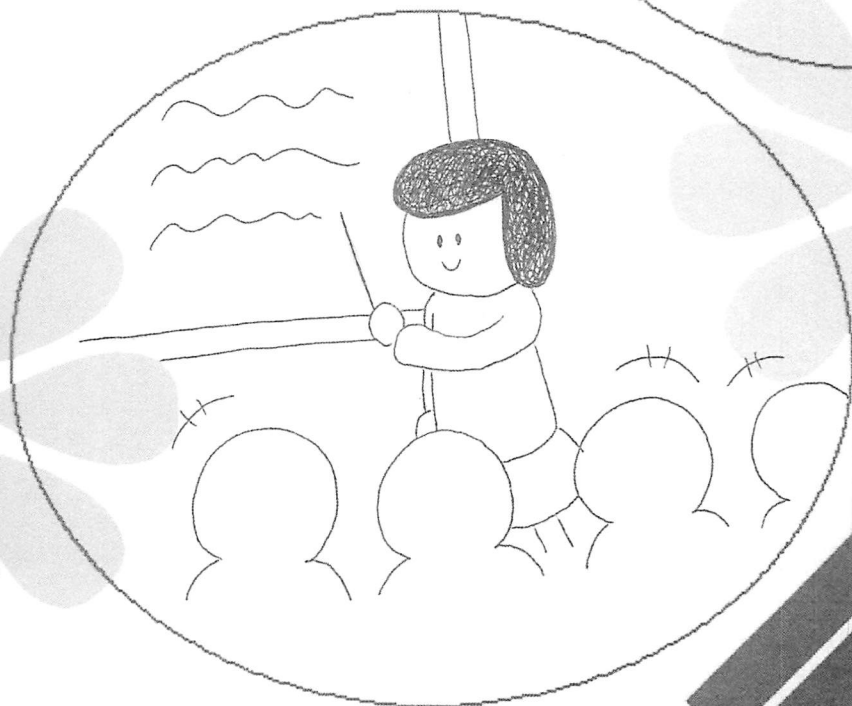
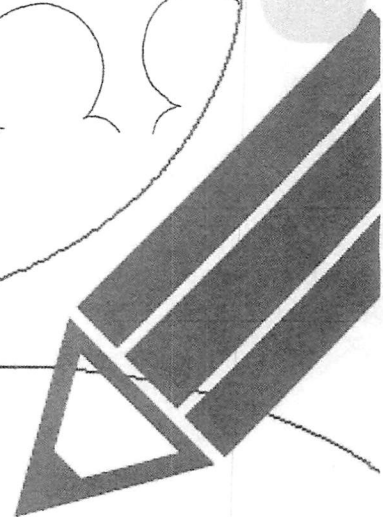


経済学部ゼミ紹介



2013



日時:2013年6月5日(水)

場所:甲友会館大ホール

時間:2限 10:40~

ゼミ紹介の際はこの冊子をお持ち下さい。

も く じ

岩崎ゼミ	2
青木ゼミ	3
稲田ゼミ	4
小林ゼミ	5
小山ゼミ	6
岡田ゼミ	7
高ゼミ	8
永廣ゼミ	9
奥田ゼミ	10
上島ゼミ	11
寺尾ゼミ	12
市野ゼミ	13
森ゼミ	14
石田ゼミ	15
春日ゼミ	16
林ゼミ	17
柘植ゼミ	18
中島ゼミ	19
平井ゼミ	20

本冊子掲載の各ゼミ紹介文、「甲南大学経済学部入門のしおり 2013」
の一部を経済学会ホームページにて公開しております。

こちらもゼミ選択に是非ご参照ください。

甲南大学経済学会

岩 崎 ゼ ミ

[学ぶ分野について]

1. 「産業組織論」と呼ばれる分野の問題を学びましょう。
2. 大企業がライバルを駆逐するのにどんな不当な戦略を駆使するか、に従来の産業組織論は関心をもっていました、・・・。
3. もっと広く、企業の行動や戦略、組織などが、企業の盛衰にどんな影響を与えているかも大変面白いですよ。 ビジネススクールでは経営戦略論として教えられることがあります。
4. 雑誌、新聞、TV、ネットなどに見られる情報をもとに、いろいろな企業の成功、失敗の事例（とその原因）を分析してみましよう。

[参加者への希望]

1. ゼミでは、ゼミの友人たちの発言を「よく聞き」、自分の考えを「よく話してください」。「良いアイディア」はメモして、自分のものにしましょう。
2. 基礎知識として、産業組織論の教科書を1冊しっかり勉強してください。考える際の基礎ができます。
3. 新聞、TV、ネット上の各種情報などに目を通してください。東証上場会社の最年少社長として記録をつくったリブセンス社の村上太一氏のお母さんは、彼の学生時代にお勧めの経済番組を録画したものを彼の元に送ってきていたそうです。広告みたいな番組も多いのですが、にもかかわらず、結構 **informative** なものもたくさんあります。
4. 雑学、雑談は大学生にとって結構大切じゃないかしら？ 一人でこっそり勉強してびっくりするような成績を残したりしないでいいから、にぎやかに、わいわいおしゃべりして、「ああ、今日も面白かったな」と思うようなゼミにしてください。

青木ゼミの紹介

【青木先生から一言】

皆さんは、自分の将来プランを考えていますか？まだ2年生前半だけど、あっという間に大学生生活は終わってしまいます。「何かしておかないと」と思っている人も少なくないのではないのでしょうか？そうした人のために、ぜひゼミ活動に積極的に参加してみてください。これがすべてではありませんが、あと1年半もすると、あなたの大学生活を人前で説明することが要求されるからです。

青木ゼミは、大学における「学びのエピソード」作りをめざすゼミです。まず、なんといっても皆さんが主役です。先生は基本的には学び（および遊び）の環境設定しかしません。「勉強は教えてもらうものではなく、自分たちでするもの」と理解して下さい。指示待ち学生・お客様学生は卒業しましょう。また、いつもパソコンをいじっているゼミです。操作方法が分からなければ、ゼミの仲間が教えてくれます。だから教室は5号館ではなく2号館にあります。4～5人のグループ単位で議論しながらゼミをしています。4回だけ自分たちで勉強したら、みんなでプレゼンのコンペをします。トップの人にはご褒美があります。その後、また、グループのリシャッフル・・・といった形でゼミが進みます。その狙いは、皆さんが社会に出たときに分かってきます。学生生活をエンジョイしようとする人、大歓迎です(ただし、自主休校しても平気な人はお断り)。

【ゼミの学生から一言】

毎回のテーマに沿って、筋書きをどう組み立てるかを、それをどう表現するかを「自分たち」で考えながら作業をするゼミです。素材は気づかないだけで、その辺りに転がっています。パソコンという道具を上手に活用し、ゼミの仲間と身近なテーマをどう表現するかを、常に考えるゼミです。ぜひ一度、ゼミ教室に来て、ゼミの雰囲気を見てください。

稲田ゼミナールとは？

今年のゼミの特徴：皆さんと一緒に**関西経済**を勉強します。人口減少下の日本経済が生き残っていくためには、海外、特に成長著しいアジアを無視できません。皆さんが生活し、将来就職する可能性が高い関西経済は、非常にアジアと結びつきが強いのです。関西といえば、なにも阪神タイガースだけではないのです。アジアを意識することなく関西を語れません。アジアとのつながりを深く考えることで、関西経済の発展の方向や成長戦略へのヒントが見えてきます。そこで、関西経済を学習するのは、今でしょうと思い、皆さんと一緒に関西経済を研究することにしました。

具体的には：ゼミの内容を紹介します。

- (1) まずは関西経済の理解：最初は関西経済の基礎データを学習します。次に、アジアとの関係を強く意識する大阪や神戸の1スポットを選んでもらいます。現地の訪問も重要な手段です。
- (2) 次に、その場所がなぜアジア人を引き付けているのか理由を深く考えてみます。新聞紙面の関西経済欄が大いに参考になるでしょう。また土地の魅力やブランドについても考えてみます。この段階で、多くの参考文献を読みこなします。
- (3) 最後の段階として、ちょっと難しいですが「関西経済の成長戦略」の研究にチャレンジします。成長戦略とは皆さんの雇用や所得の増加をいかに実現するかを考えるものです。例えば、関西の各府県や広域連合はどのような成長戦略を持っているのでしょうか？成長をリードする産業をどのように考えているのでしょうか。これらを研究・理解することで、各人の成長戦略につながればと考えています。

ゼミの運営について：週に1回のゼミ発表と週ごとの関西経済の情報収集がゼミ運営の車の両輪です。各グループは先週に発表されたデータを用いて、関西経済のReviewを行い、週1回のプレゼントを行います。そして、それをめぐっての議論をします。

小林 均 ゼミ

《教員より》

「政府活動の理論的・制度的分析」を基本テーマとし、「21 世紀日本における公・私の役割分担」を発展テーマとします。社会保障(年金・医療・税金)を経済学の立場から研究し、21 世紀を作り上げ・維持する『学問』を目指すつもりです。社会保障の持続可能性と税制は、日本の現在・将来にとって解決すべき重要な課題です。これからの日本の経済社会は、高齢化、グローバル化という大きな潮流の中を、冷静に舵取りをし、生き続けなければなりません。今日アベノミクスの下、今後の日本経済がどうなるのかを考えることも大変重要であるとともにエキサイティングなことです。大学一年生の時に読んだ経済学の入門書で、経済学を学ぶものにとって必要な姿勢は「Cool Head but Warm Heart」という、イギリスの経済学者マーシャルの言葉を知り、大変感銘した事を今でも忘れません。学生諸君がマーシャルの精神で、物事に対処する事ができるようになれば、本ゼミの目的はほぼ達成されたといつて良いでしょう。大学生時代は自由であり、何でも吸収でき、しかし短い。この貴重な期間をいかに過ごすかが、その後の『豊かさ』を決めます。

《ゼミ生より》ゼミの幹事(男性)

ゼミの第一の魅力は何といっても仲が良く雰囲気ですばらしいことにあります。コンパ、飲み会も開催され、かけがえのない仲間を作ることができます。ゼミの大きなテーマとして社会保障があります。ゼミ I では主に今現在日本が抱える年金問題について学びました。年金と聞くと学生だから関係ないと思っている人が多いと思いますが、実は今後年金を払っていく私たちはなんと約2000万円も損をしてしまうのです。私たちは「知らない」「わからない」というだけで知らず知らずのうちに損をしてしまいます。年金のような社会保障制度を通じて社会の仕組みを理解することができ、気になる就職活動において必要なプレゼン能力を身に着けることができます。遊びも勉強も兼ね備えた小林ゼミこそ大学生活を彩るにふさわしいのではないのでしょうか。

《ゼミ生より》コンパ担当(女性)

ゼミでは個性豊かな 20 人が集まり、年金問題について 1 年間取り組みました。一つの課題に全員が取り組むことにより、問題を深く掘り下げ、議論することができます。こんなふうによく書くとかたくなるしく思われるかもしれませんが、ゼミ生みんな仲がよく、コンパでは楽しくワイワイしています！どこのゼミに入るか迷っているなら、ぜひ遊びに来てみてください！

《ゼミ生より》(女性)

「年金は本当にもらえるか？」という本をもとにゼミが行われ、7 つの班が発表する側と質問する側にわかれ、毎週ローテーションで入れ替わります。難しい内容で大変そうに思われますが、章ごとに進められ、最後に先生が詳しい解説をして下さるので心配はいりません。パワーポイントを使用し自分たちでまとめて発表するので、プレゼン力も身に付きます。飲み会など先生や仲間と交流を深める機会もあるので、ゼミの雰囲気にもすぐに溶け込めます。

小山ゼミのご紹介

ゼミ生から

小山ゼミは主に「環境と経済」について研究・発表・討論するゼミです。「環境と経済」と聞くととっつきにくいイメージがあるかと思いますが、そんなに複雑な事はしません。むしろ、テーマはほぼ自由なので、自分が本当に興味のある物事について取り組む事が出来ます。

一見経済とは関係なさそうな事でも突き詰めていくと、必ず経済に関係しています。小山ゼミではいきなり経済学から入るのではなく、こういった自分が関心のある事柄から経済に馴染んでいけるのが特徴です。

もし経済学に興味がない、もしくはよく分からないという人は、まずこの小山ゼミで、興味のある事柄から経済の世界に足を踏み入れてみてはどうでしょうか？

きっとあなたが経済に対して抱いていたカタさやとっつきにくさがなくなると思います。

担当教員から

ゼミに所属すると、就職活動のときに「自分は大学のゼミで、こうしたテーマで研究しています」とアピールできます。しかし、より重要なのは、自分が大学卒業後ずっと（無意識に）使っていくことになる物事に対する見方、判断の仕方、あるいは問題解決型思考法といったものを、ゼミの活動を通じて確立しておくことだと、私は考えます。

小山ゼミでは、ゼミ生一人ひとりが必要な情報を効率的に収集し、それらに基づいて論理的に思考・判断する能力・スキルを向上させることを目標として、さまざまな機会を設けています。

自らの能力・スキルをアップさせたいという強いモチベーションを有し、かつそれを維持し続けられる学生が、小山ゼミに応募してくれることを期待しています。

岡田ゼミ

書を読み、街を歩き、人と出会い、神戸の歩みをじっくりと学ぼう。
そうすれば、この大都市の進むべき道がおのずと見えてくるはず。
(ゼミ教員より)



岡田ゼミ・フィールドワーク (2012年11月11日 北野 風見鶏の館)

◎◎ 現役ゼミ生 (4回生) からのメッセージ ◎◎

こんにちは(^)/岡田ゼミです。私たちのゼミは、神戸の経済と歴史を学んでいます。

神戸はお洒落で魅力にあふれる街です。そんな神戸をもっとよく知るために、ゼミのみんな
でフィールドワークに行ったりもします。

私たちの代ではインゼミ大会で「神戸とテート」をテーマに発表を行いました(見事賞を頂
きました♪)が、神戸と経済に関係するテーマなら何でもOKです。

岡田先生はちょっと心配性なお父さんみたいな方で、岡田ゼミのメンバーはのほほんとして
いて、楽しいことが大好きな人たちです。

神戸に興味のあるみなさん、アットホームな岡田ゼミで一緒に楽しみませんか。

ご応募まっています(^)♪

高 ぜ み

【高先生から】

ゼミは、教員が学生に一方通行で行う講義とは大きく異なる。教員と学生たちが自由な意見交換をし、ともに学ぶ場であり、ともに「楽しいゼミ」を作っていく場といえる。

高ゼミでは、アジアと日本のエレクトロニクス企業について勉強する。2年後期では、基本的な資料を学び、その後にゼミ生の希望を聞いていくつかのチームで課題を決め、調べていく。今年は、携帯電話産業における、サムスンとアップルと日本企業などの競争関係を調べている。テストはない。インゼミには参加したい。4年の最後に卒論（卒業レポート）を書く。

好奇心旺盛で、アジアと日本企業に関心がある学生の参加を望みます。

【高ゼミの学生から】

高ゼミでは、アップルの iPhone や韓国サムスンのスマホを調べるチームと、シャープやサムスン、台湾のホンハイなどの液晶テレビ産業を調べるチームがあります。2つのチームが調べてきたことをもとにプレゼンを何度もしてきたので、次第に説明するのも上手くなってきたように感じます。プレゼンの後に先生が補足説明などをしてくれるので、とても理解が深まります。

先生も気さくな方で、男子10人と女子10人でいつも和気あいあいと話ができる楽しいゼミです。

ゼミ見学などに参加したらわかると思いますが、高ゼミに入ってきたと後悔することはないと思います。

えひろ 永廣ゼミ

永廣から…

ゼミとは、単位取得だけのためにあるのではなく、ゼミ生同士、ゼミ生と教員が、学問はもちろん、学問以外についても自由に議論し、「全員で勉強する＝生き方を学ぶ」場であると思います。

私のゼミでは、転換期にある日本財政の諸問題について、理論、歴史、制度、政策それぞれに目配りしながら、多角的、総合的に検討します。ここ数年は、税制、社会保障（公的年金、生活保障など）問題を取りあげています。ゼミ生のみなさんには、些細なことであっても、論点、疑問点等を積極的に提起し、自由に議論してほしいと思います。また、ゼミでの議論を通じて、自分自身の考えを論理的に整理する方法を身につけてもらえることを期待しています。

ゼミ生同士、ゼミ生と私が、何でも自由に話し合える雰囲気をつくるため、ゼミの運営方法については、ゼミ生からの意見も踏まえながら色々工夫しています。研究室への来訪は大歓迎ですし、課外活動（ゼミコン、社会見学、合宿などのイベント）も数多く実施しています。ゼミ生のみなさんには、ゼミ室での勉強、課外活動、いずれにおいても大いに個性を発揮してもらいたいです。

ゼミは、知識はもちろん、礼儀作法等の社会性も身につけるところです。ゼミ活動を通じて、ゼミ生同士、ゼミ生と私との間に確固たる信頼関係を築き、実りの多いゼミにしていきたいと思います。

ゼミ生から…

☆永廣ゼミでは、主に輪読をしています。報告・質問・司会・コメント班に分かれ、最後に先生からコメントやアドバイスをもらうという流れで運営をしています。最初はとても難しく感じますが、ゼミのテーマでもある財政についての知識が深まるだけでなく、要約する力や人前で話す力も身につくと思います。ゼミでは、輪読以外にも社会見学やゼミコンなどイベントが多く、メリハリのきいたゼミです。ゼミ生同士も仲がよく、居心地のいいゼミです。

ぜひ永廣ゼミに入って有意義な大学生活を送りましょう！

☆永廣ゼミでは、主に消費税や世代間格差などがもたらした財政問題について勉強しています。授業では、これらのテーマについての本を司会・質問・報告・コメントの班に分かれてゼミ生同士で質疑応答を行う輪読をしています。一人で本を読むのとは違い、要約をしたりゼミ生同士で質疑応答を行ったりして、最後に先生からアドバイスも聞けるので、より深く財政について勉強できます。他にも社会見学やゼミコン（食事会）、ゼミ合宿などのイベントも行って永廣先生やゼミ生同士で交流し楽しんでます。昨年度の社会見学では、インスタントラーメン発明記念館やキューピーマヨネーズ工場の見学に行きました。

私たち永廣ゼミの活動に興味のある人、財政について勉強したい人はぜひ一度ゼミ見学に来てみて下さい。お待ちしております！！

☆初めまして、永廣ゼミです。このゼミではインゼミに向けて、財政をメインに現在日本で起きている問題について話し合います。テキストの輪読を通じて内容についての質問から話題を広げ、ゼミのみんなで考えるという少人数ならではの方法で進めます。自分の考えとは違った意見が聞けるのが面白いところで、無意識に経済問題について興味が出てくるでしょう。また、ゼミではテキストの輪読だけが講義ではなく、社会見学での工場見学、合宿やゼミコンで先生を交えて大盛り上がりの飲み会もします。

みなさんもインゼミに向けて永廣ゼミで楽しく経済問題を学びましょう！

☆私達永廣ゼミはとても活気のあるゼミです。授業中は真面目に勉強し、社会見学やゼミコンでは盛り上がる事のでき、とてもメリハリがあります。授業では消費税や世代格差問題など財政についてのテキストを輪読しています。輪読というのは報告 質問 コメント 司会の4つの班に分かれて週ごとに交代しながらテキストを要約や質問をしながら理解していくものです。最初は難しいかもしれませんが、慣れると理解するのも早くなっていきます。

笑顔の絶えないとても良いゼミなので一度ゼミを覗きに來てください。

奥田ゼミナール

[担当者から] こんな時代だから古典を読もう



《文明社会では、人間はいつも多くの人たちの協力と援助を必要としているのに、全生涯をつうじてわずか数人の友情をかちえるのがやっとなのである。》(『国富論』第1編第2章)

わたくしにとって、大学時代のゼミナールは、まさにそうした貴重な「友情」の苗床でした。みなさんにとっても、そうであることを希望します。

ところで、アダム・スミスは上の文章に続けて言います。他人の善意はあてにできない。それよりも相手の利己心に働きかけるほうがよい。《われわれが自分たちの食事をとるのは、肉屋や酒屋やパン屋の博愛心によるのではなく、かれら自身の利害にたいするかかれらの関心による。われわれが呼びかけるのは、かれらの博愛的な感情にたいしてではなく、かれらの自愛心にたいしてであり、われわれがかれらに語るのはわれわれ自身の必要についてではなく、かれらの利益についてである。》

経済学的な人間観の宣言としてあまりにも有名な箇所ですが、しかし、わたくしには《一身にして二生を経た》(『福翁自伝』)のような溜息が聞こえてくるような気がしてなりません。二つの引用文をゆっくりと読み比べてみてください。

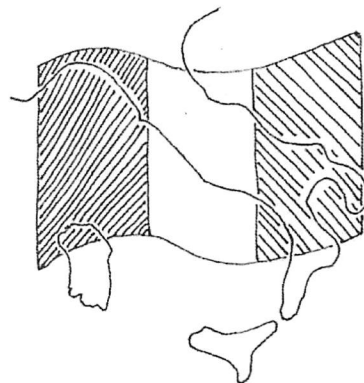
「産業革命」と「市民革命」によって社会の成り立ちが大きく変わろうとしている時代のただなかで、新しい学問のありかたを求めたのがスミスです。『国富論(諸国民の富)』を手がかりにして、経済学の初心を探りたいと思います。

[受講生から] なにかを真剣に突き詰めたい人にはオススメ

「奥田ゼミナール」受講適性診断

- ・書物を愛している (はいいいえ)
- ・感受性が豊かである (Yes/No)
- ・知的な好奇心が旺盛である (Ja/Nein)
- ・社会科が全般的に好きである (Oui/Non)
- ・論理的・多面的に物事を把握できる (Si/No)

5つすべて当てはまる人は「奥田ゼミナール」へ



上島ゼミで学ぶこと

平凡な人間でも、人生のさまざまなステージで難問に出くわす。どうすれば就活で「内定」をもらえるのか、今のカレシと結婚すべきか、なぜ営業成績が上がらないのか、転職になったが家族を連れて行くか、不登校の息子にどう向き合うか、どうしたら部下を育成できるか、親の介護をどうするか…。人生相談に正答集はない。悩みを話せる友人がいても、結局、自分の頭で考えて答を出さなければならない。

難問を解くツールは「論理的な思考力」である。すなわち、観察したあと、必要な情報を集めて理解し、推理を加えて解決策を得る力である。筋道を立てて考えてはじめて、家庭や職場、地域で出会う問題に対してかしく対応することが可能になる。困難な状況で頼りになるのは、がまんと思考力である。

ゼミの大きな目的は、「論理的な思考力」を身に付けることである。そのために、前半では各自に下記のスキルを習得していただく。一人ひとりがスキルを磨かなければ強いチームは生まれない。「0」はいくつ足しても0である。

- ① 書く力…分かりにくい文章はだれも読んでくれない。簡潔・明快な文章を書くためのチェック項目を整理する（20個ある！）。
- ② 聴く力…話を聴きながらその流れとキーワードをメモする。その日のうちにノートに整理して、本質的なポイントは何かと考える。
- ③ 読む力…本を読まない人は複雑な思考ができない。論理のくさを追う力を養う。合わせて、読書の面白さを伝えたい。
- ④ 話す力…退屈させないプレゼンテーションをするにはコツがある。5つのチェック項目を心がけて練習を繰り返す。
- ⑤ 調べる力…「血液型から性格が分かる」などという証拠のない主張を鵜呑みにしてはいけない。証拠を示して因果関係を明らかにするのが“科学”である。

上記の能力について、身に付けるべきテクニックを明示して指導する。テクニックに気を配って練習することで、論理的に考える力が鍛えられる。何も意識せずに自己流を繰り返しても時間と労力のムダである。大学生になったのに「分かりやすい文章が書けない」、「人前で上手く話せない」ことを内心、恥ずかしいと感じる人には有益なゼミだと思う。

ゼミの後半では、インゼミ大会での発表を準備する。そこでは研究の方法だけでなく、チームワークの働き方を知るだろう。「0」から「1」に成長した個人がグループになり、「1」+「1」を3に変えるためには何が大事なのかを学ぼう。グループのなかで自分には何が求められているか、そこで自分をどう生きるのか、意見が合わないときどう判断するか、どうすれば全員のモチベーションが上がるのかなど、グループがチームに変わる条件についても一緒に考えよう。

（文：上島）

寺尾ゼミ 第11期生 募集のお知らせ

今のまま(の自分)でいいとは思っていない(寺尾ゼミが気になる)みなさんへ

こんにちは。

この3月に卒業した、10期生です。

“あっ”という間に時は過ぎ、気がつけば、「ゼミIII」まで終わっていました。

難しいですよ、寺尾ゼミは。
自分たちで、つくりあげるのです。

何も意見が出ないまま沈黙が続き、
何処に向かっているのかわからない道を進むことも、度々あります。
だけど、なんとかなります。

一人ではできなくても、一人ひとりの力を合わせれば、なんとかなるんです。
そのなかで、ゼミのなかで、大学のなかで、この世界のなかで、“自分”を、見つけてください。

少し前のことになりますが、桜を見に行きました。一人で。散歩。
でも、家に帰ってから、後悔したんです。
花びら一枚でも、触れておけばよかった…と。
だって、「見る」と「触れる」とでは、ぜんぜん違うはずですから。

何が、言いたいのか。
ぜひ、寺尾ゼミに、来てください。
後悔は、させません。
みなさんに、「甲南大学に来てほんとうによかった」と思わせる自信が、あります。

* * *

ゼミについて、やったことがなくても、“少人数”というのは、わかりやすいと思います。
ゼミについては、やってみたことがないと、“2年半”というのは、わかりにくいと思います。

入ることが目的のゼミではなく、
もちろん、入るまでがよかったというゼミでもなく、
誰かに自慢するためのゼミではなく、
もちろん、誰にも自慢できないゼミでもなく。

一人ひとりの顔が異なるように、一人ひとりの心は異なるものですが、
甲南大学まで来ているのなら、寺尾ゼミまで行くのがいいのだらうと思います。

市野ゼミ

担当教員からのコメント

「あれらぬことはかめたことのある場所を歩いてもつまずかない
 だれもが知っていることはだれも知らないところを歩きたいの」
 僕が好きな詩人、長谷部奈美江の言葉です。

市野ゼミでしたいのは、まさにこれです。

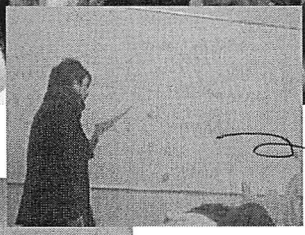
私たちの身の回りに、私たちの「外」に、「だれも知らないところ」はたくさんあります。さぐりに考えろ。どんなことも当たり前のと思わない。あり得ないと言わない。さうすれば、私たちは「だれもが知っていることば」だけじゃあ、いぶん遠くまで行けます。

～ 大事な人と一緒に「だれも知らないところ」を歩くことを楽しみにしています。～

市野ゼミはとにかく仲がいい!!
 私達の大学生活は、学んで、遊んで大盛り上がりだよね～



先生も参加してFACにリスミス会☆
 プレゼント交換、ゲーム、カラオケ
 みんなで大盛り上がり

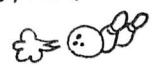


定期テスト前には
 みんなで集まって
 勉強会

春休みには、スキー合宿
 → バイトがなければ参加お断り



クリスマスパーティ
 プラス会
 夜はしゃべりしゃべり
 食べ放題



森ゼミナール

担当：森 剛志

ゼミのテーマは「家計の立場からみる行動経済」です。

このゼミでは与えられた課題のテキストの内容を読んで、何が書かれてあったか、その中でも頭に残ったこと、考えたこと、感じたこと、疑問に思ったことをゼミ生みんなで話し合います。

ゼミの進め方としては、どのようにその日のゼミを進めていくかを二人組になって考え、レジュメを作成し、司会進行をして、実際にみんなに考えてもらい、話し合います。

また、グループに分かれて、一つテーマを決め、そのことについて調べて発表するプレゼンテーションも行います。発表をお互いに聞きあい、どこが良かったか、どこが悪かったのかを評価し合い、次のプレゼンテーションにつなげていきます。ゼミの先輩達のプレゼンテーションを聞く機会もあり、自分達のプレゼンテーションの参考にすることができます。

自分達の仮説があっているのかを確かめるためにアンケートをとったり、教室を飛び出し、学外で実験・調査を行ったりもします。机に向かって本を読むことだけが勉強ではありません。自分の目で見てはじめてわかることもあります。

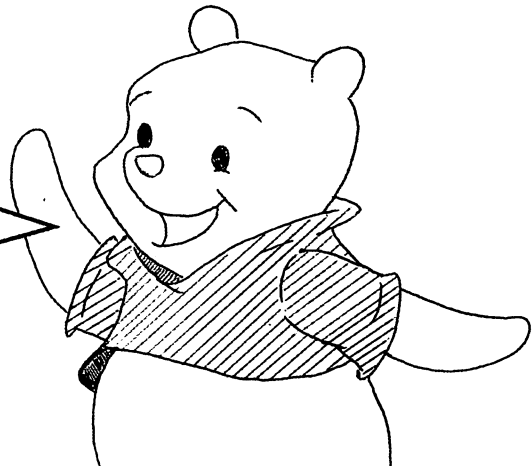
他にも、コンピュータを使用して図や表を作るといった作業も行います。コンピュータが苦手だという人もいると思いますが、毎回わかりやすい資料と丁寧な解説があるので安心です。

このように、森ゼミは、毎回のゼミをゼミ生みんなで作り上げていく「ゼミ生の、ゼミ生による、ゼミ生のためのゼミ」です。

ゼミを通して読書力、文章力、コミュニケーション力、プレゼンテーション力、グループワーク力、情報機器能力などのたくさんの力を自然と身につけていくことができます。



去年は三年生も採用しました。
迷っている人、
質問がある人は
ゼミ見学、相談会に
ぜひ来てください♪



石田ゼミ

担当教員：石田 功

本ゼミのテーマは金融市場分析です。特に、為替レート、株価、金利等のデータを実証分析し、金融市場の性質について理解を深め、さらには、金融機関や投資ファンドの資産運用において市場リスクを管理する方法を学ぶことを目標とします。もちろん、ゼミですから、講義方式ではなく、ゼミ生による各自の調査・分析、グループワーク、発表、クラス・ディスカッションが中心となります。

(他の経済分野に関するもの同様に) 金融市場に関する新聞記事、レポートには、市場分析のプロが書いたものでも、論理的に考えれば明らかにおかしい、もしくは何の根拠もない俗説が溢れています。それらを、ファイナンス理論とデータの証拠を援用しつつ批判的に読むことにより、ものごとの論理的分析力やデータ・リテラシーといった、どんな仕事をする上でも強力なツールになる汎用的スキルを習得してもらえればと考えています。

本ゼミは、今年度後期のゼミ I からの開講となるので、現時点でゼミ II 以降のゼミ生は不在です。説明会では担当の石田が説明します。ゼミ運営方針の詳細等については「ゼミ I 受講要項」を参照して下さい。

春日ゼミ：現代産業論

本ゼミでは「現代産業論」と題し、日本の産業に関する種々の話題について学習します。より具体的には、

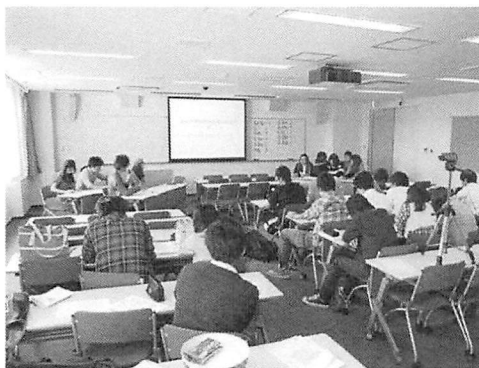
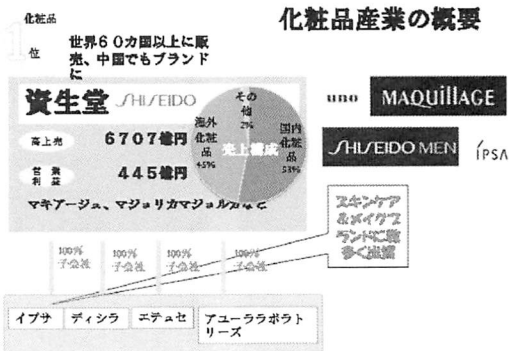
- ・日本にはどのような産業があるのか、
- ・各産業はどのような企業群から構成され、
- ・どのような競争が行われているのか、

等について学習します。主としてグループで財務指標／新聞記事／書籍等の情報を調査・分析した結果を報告し、その内容についてゼミ生全員で討論することで、知識や理解を深めていく形式で進める予定です。

甲南大学では今年度初めてのゼミ募集となりますので、応募される皆さんは第1期生になります。従って先輩はおらず、「決まったやり方」も存在しません。ゼミの進め方は皆さんの意見をとり入れながら、柔軟に変更していきたいと思っています。

以下では参考までに、過去に実施してきたゼミをベースに、現時点での予定をご説明します。

ゼミⅠでは、まず産業を分析する技能を身につけます。参照すべき図書や新聞情報の検索の仕方、財務情報の分析方法等に関する基礎的知識を身につけた後、グループごとにPPT等を用いて発表を行います(右図)。詳しいだけでなく、わかり易く、興味をひく内容のプレゼンを行うよう工夫する必要があります。また事前に質問内容をある程度予想し、調査を



行っておく必要もあります。

聞き手は報告の内容について理解した上で質問を行い、報告グループの理解度を確認します。

ゼミⅡでは、ゼミⅠの内容を反復するとともに、特定のテーマについてより深く掘り下げ、大学対抗のディベート大会(左図)や経済学部のインターゼミナール大会への参加を通じて、相手の質疑に臨機応変に対応する技能を身につけます。

以上のような活動を踏まえて、最後のゼミⅢでは、各自が興味を持った産業について卒業研究を行います。ゼミ生全員でオリジナルの「産業地図」を作成することが最終的な目標です。

ゼミ活動にある程度真剣に取り組んでみたいと考えている方は、是非一度、のぞいてみてください。お待ちしております。



6/5 (水)

けんた884



このたび11期生を募集します。林ゼミに入ると・・・
「新歓コンパ(9月)、卒業コンパ(3月)あります。」
「新年会(or忘年会)あります。」
「インゼミに向けてゼミ合宿やります(4年次を予定)。」
「研究室でお菓子食べ放題(?)です。」

けんた884



ゼミのテーマは「デジタル社会をどう生きるか」、サブ
テーマは「卒業後の人生について考えよう」です。

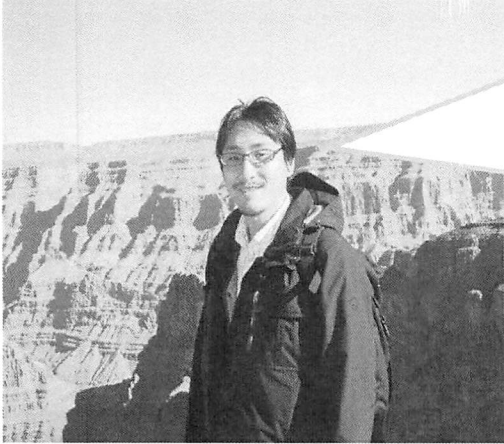
スマートフォンなどのデジタルなものに興味を持ちつ
つ、縦(上級生/卒業生/指導教員)と横(同級生)
のつながりというアナログな部分も大切だと思う方
は、この機会にぜひ入ゼミを検討してみてください。

「新しい物好き」な人、「海外好き」な人、「ゲーム・
サッカー(ヴィッセル神戸)好き」な人、「お金好き」
な人、そして「お酒は飲めないけど飲み会好き」な人、
こういう方は、私とフィーリングが合う可能性大です。
充実した大学生活を送るために、一緒にゼミを盛り上
げていきましょう!

問い合わせ：khayashi@center.konan-u.ac.jp



送信



環境経済学 柘植ゼミ (*^^*)

この方が噂の柘植先生です。ワイルドそうですね？（笑）おそらく2回生のみなさんは知らないと思います。柘植先生は、頭がよくて優しくて頼りになって自由にさせてくれる、本当に良い先生です(*^▽^)/

柘植ゼミのいいところ(*'-'*)



- ① 先生がとにかく良い！
- ② 飲み会などを定期的に行うのでゼミ生同士とても仲がいい！
- ③ 環境経済学に限らず、自分たちの好きなことを自由に研究できる！
- ④ ON と OFF の差がはっきりしている！
- ⑤ 研究の中で自由にフィールドワークに行ける！ など！

今までの研究テーマ (^◇^)

- ・『よりよいUSJを作るには』～学生目線から改善策を提案～
- ・甲南大学のデポジット制度について
- ・奈良の観光客を増やすには？ など！

応募するには、A4サイズで一枚程度の研究計画書の提出が必須です。心配しなくても大丈夫です。（詳しい内容はHPに記載予定）

何か聞きたいことなどがあれば、遠慮せず下記のアドレスまでメールしてきてください。

アドレス（石川忠佳）⇒ se131017@center.konan-u.ac.jp

HP⇒ <https://sites.google.com/site/takahirotsuge/seminar>

「アホでもいい、遅しく育って欲しい」

by Kiyotaka Nakashima

- ・今、サンディエゴというところにいます。
- ・地ビールがとても美味しく、暖かくて気候の良いところです。
- ・いつもビールを飲みながら下らないことばかり考えています。
- ・平日の昼間からビールを飲んでいるのでいつかバチがあたるでしょう。
- ・あまり大きなバチがあたるのは嫌なので、帰国後の僕は、勉強しないと
いけません。
- ・『今そこで勉強やれ!! アホ』っていう御批判は重々承知しております。
- ・でもやるつもりは一切ありません。というより出来ません。
- ・サンディエゴの陽気とビールが悪いんです。僕が悪いじゃありません。
- ・だから、中島ゼミに関わる人は、帰国後の僕の『勉強せんとバチあたる
ぞモード』に影響を受けるかもしれませんし、受けないかもしれません。
- ・でも、ちょっとだけ受けてくれたら嬉しいです。
- ・本読んだり、音楽聴いたりしながら『自分って一体何なんやろう』ちゅう
ことを考えている人とは相性が良いように思います。
- ・見かけや格好、性別、経験は一切問いません。
- ・面接が出来ないので、書類選考しかしようがないのですが、それでもえ
えちゅう人は来てください。

平井ゼミ

本ゼミでは、19世紀後半から20世紀前半におけるアジアを題材として、アジア経済がどのような特徴を有しながら展開してきたのかについて、とりわけ日本との関係を重視しながら研究する。

周知のように、近年、アジア経済は急速に成長しているが、同時に、容易には解決できない様々な問題にも直面している。本ゼミでは、およそ100年前のアジア経済を学ぶが、それが意味を持たないということはない。歴史を学ぶ目的は、単に過去の出来事を覚えるのではなく、現在の問題を考える際のヒントを探す「過去からの教訓」と、現在が過去の人々によるどのような選択を経て存在しているのかを知る「現在の相対化」にある。近代アジア経済を研究することは、現在のアジアを取り巻く様々な問題を考える際の「引き出し」を増やす、大きな助けとなるであろう。

具体的には、経済を構成するヒト・モノ・カネ・情報を取り上げて、以下2点を研究する。第1に、アジア経済の展開を比較と関係の視点から研究する。たとえば、日本経済と中国経済はどのような関係を形成していたのか（関係）、日本経済と中国経済はどこが違うのか（比較）などである。第2に、日本植民地の「開発」の問題を研究する。たとえば、日本植民地期の台湾や朝鮮は急速に経済成長したとされるが、日本による「開発」政策が現地社会とのどのような関係のなかで展開したのかを議論する。

ただし、これらの研究は、ゼミⅡ・Ⅲで本格的におこない、ゼミⅠはその準備段階とする。ゼミⅠの進め方は、各回の担当者を決め、その担当者がアジアに関する書籍（現代に関するものでもよい）の内容を発表・紹介し、参加者全員でその内容について議論する。

最後に、言うまでもないが、ゼミの第一の目的は研究にある。友達・思い出作り、就職活動時の話題作りを第一の目的とする学生は遠慮願う。

ゼミ I 履修希望者向け相談会

「ゼミ相談会」ってなに？

現在ゼミを履修中の先輩方が、ゼミ I 履修希望者の相談に直接答えてくれるというもの。「このゼミに興味があるんだけど…」という人は積極的に参加して、不安や疑問を取り除いて下さい。

開催日は6月5日(水)、12日(水)、時間は各日とも12:15~12:45です。

各ゼミの開会日は下表で確認して下さい。

※○が開会予定の日程

ゼミ名	6月5日	6月12日	教室
岩崎ゼミ	—	—	—
青木ゼミ	○	○	5-504
稲田ゼミ	—	—	—
小林ゼミ	○	○	5-408
小山ゼミ	—	—	—
岡田ゼミ	○	○	5-417
高ゼミ	○	○	5-402
永廣ゼミ	○	○	5-503
奥田ゼミ	—	—	—
上島ゼミ	—	○	5-506
寺尾ゼミ	○	—	5-502
市野ゼミ	○	○	5-510
森ゼミ	—	○	5-409
石田ゼミ	○	○	5-509
春日ゼミ	○	○	5-508
林ゼミ	○	○	5-406
柘植ゼミ	○	○	5-501
中島ゼミ	—	—	—
平井ゼミ	—	—	—